

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	相模原市	代表者名	本村 賢太郎
担当者部署	企画財政局	連絡先電話番号	042-769-8212
担当者役職		担当者氏名	
住所	252-5277 神奈川県相模原市中央区中央2-11-15		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	次期情報化計画は官民データ活用推進計画も兼ねていることから、全庁から受講希望者を募り、データ利活用に関する研修を実施した。本研修は、データアカデミーの第1回の内容を応用いただき実施していただいたが、データ利活用の重要性を理解するとともに、データを活用する際のプロセスについて庁内職員に学んでいただくことができる良い機会となった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年12月20日	9時30分	12時00分		150
3-2. 派遣場所	会場名	相模原市役所		最寄駅	JR横浜線相模原駅
	所在地	神奈川県相模原市中央区中央2-11-15			
	最寄駅からの交通手段	バス(神奈川中央交通)又は徒歩(15分)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	24人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・政策立案等の日常業務において、行政で保有しているデータ又は民間のデータを利活用を促進すること	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・データ利活用の重要性について受講者に感じていただくこと ・データ利活用のプロセスについて学んでいただくこと	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・ワークショップでは、働き方改革又は少子化対策をテーマに仮説を設定し、仮説を立証するにはどのようなデータが必要か意見出しを行った。本ワークショップにより、施策立案におけるデータ利活用を疑似体験することができ、受講者にデータ利活用のプロセスと重要性について、学んでいただくことができた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	これまで研修計画にデータ利活用に関する研修メニューがないという課題があったが、本研修を実施することで、今後のデータ利活用研修の下地作りとなった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 本研修は2部構成のうち1部であったため、2部(令和2年1月31日を予定)の終了時にアンケートを実施する予定。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

